

■鍋島直茂 武将, 大名。竜造寺隆信と義兄弟・重臣となり, 隆信没後, 家臣団から期待されて領国経営, 佐賀藩祖に。

なべしまなおしげ

銀輪始・1538= 肥前国佐賀本庄で, 武将鍋島清房の次男に生まれる。母は戦国大名竜造寺隆信の伯母。

武田信玄登場1541= 3歳 : 龍造寺・少弐・千葉3氏の対有馬氏連合のため, 千葉胤連の養子に出され, 小城郡で育つ。

鉄砲伝来・1543= 5歳 :

勘合船終・1547= 9歳 :

ザビエル来日1549=11歳 :

織田信長登場1551=13歳 : 竜造寺隆信が少弐冬尚に攻められ筑後に落ちた年, 本庄の実家に戻り,

川中島の戦始1553=15歳 : 佐賀に帰還したに仕えて戦功を立て,

・ ・ ・ ・ ・ 1556=18歳 : 竜造寺隆信の母が父清房に再嫁したため, 隆信と義兄弟の関係となり,

以後, 隆信のために各地で戦功を立て, 竜造寺家における重臣としての地位を高めて行く。

桶狭間の戦・1560=22歳 :

将軍義輝自刃1565=27歳 :

織田信長入京1568=30歳 :

1569=31歳 : 大友宗麟の佐嘉城攻めに際し籠城を主張, 善戦して和議をもたらし,

石山合戦始・1570=32歳 : \*竜造寺家存亡の危機と言われた今山の合戦で, 侵攻してきた大友軍を, 夜襲によって敗走させ起死回生,

以後, 龍造寺政家を補佐して筑後の経営にあたり, 竜造寺家を大発展させて行く。

室町幕府滅亡1573=35歳 :

長島一揆鎮圧1574=36歳 :

石山合戦終・1580=42歳 : 嫡男勝茂が誕生。

本能寺の変・1582=44歳 : 本能寺の変で信長が横死し, 秀吉が覇権を握るや, すかさず南蛮帽子を贈るなど関係強化に努め,

賤ヶ岳の戦・1583=45歳 :

長久手の戦・1584=46歳 : \*島原の有馬氏を攻めた隆信が島津軍のため戦死すると, 城内の動揺を見事に収めて竜造寺家臣団から期待され, 政家を見つけて, 実質的に領国統治を担うことになり,

秀吉太政大臣1586=48歳 : 豊臣秀吉の九州征討の先陣を切って肥後に進出,

バテノ追放令 1587=49歳 : 島津氏を攻めて平定に貢献, 政家は肥前7郡を安堵され, 直茂は東肥前に知行を得た。

刀狩海賊取締1588=50歳 : 長崎代官となり,

・ ・ ・ ・ ・ 1589=51歳 : 加賀守, 従五位下に任ぜられ, 直茂と改名,

秀吉全国統一1590=52歳 : 政家が病気で隠居, 家督は高房が継ぐも, 実権を握り,

文禄の役・1592=54歳 : 秀吉から直接要請されて, 文禄の役に, 竜造寺家臣団を率いて出陣, 連れ帰った孤児洪浩然はのち, 勝茂に従って殉死するほどになる。

慶長の役・1597=59歳 : 慶長の役には子の勝茂が代ったが, 旧龍造寺家臣は直茂・勝茂父子への服属を誓った。この時, 連れ帰った李参平がのちに有田焼の祖となる。

豊臣秀吉没・1598=61歳 : 秀吉没後, いち早く徳川家康に接近,

関ヶ原の戦・1600=62歳 : \*関ヶ原の戦では, 大坂にあった子勝茂が西軍属して戦うも敗れたが, かつての養父千葉胤連の子で足利学校岸主閑室元信の斡旋で徳川家康に謝罪し, 勝茂は東軍側になって西軍立花宗茂を攻め, その功で, 佐賀領35万7000石を減ることなく安堵され, 名実ともに龍造寺氏に代って肥前の大半を支配する。

朱印船制始・1601=63歳 :

以後, 勝茂とともに, 領内の検地, 佐賀城の普請など, 藩政の基礎固めに尽くし,

家康駿府退隠1607=69歳 : 竜造寺高房・政家が相次いで死去したため, 竜造寺家の家督を嫡子勝茂に譲る。

合理的精神の持ち主だったが,

琉球使始・1610=72歳 : 孫が夭折すると大騒ぎする面もあった。\*隠居し,

徳川家康没・1616=78歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 1618=80歳 : 耳にできた腫物をもとで, 没した。

のち, 松原神社の祭神となる。